

平成 28 年 5 月 13 日

沖縄県保健医療部部長
砂川 靖殿 机下沖縄県がん診療連携協議会委員
増田 昌人

要 望 書

沖縄県がん対策推進計画を円滑に遂行し、かつ同時に進捗の把握や、計画の最終評価等を行う際のベンチマークセンターを、琉球大学医学部附属病院がんセンター（以下、琉大病院がんセンター）内に、平成 29 年度からの設置をお願いします。

琉球大学（医学部附属病院がんセンター）が沖縄県より委託を受けて、沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）の中間評価に関連する指標の開発、収集、分析、評価等を行い「沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）分析報告書」（以下、報告書）として報告いたしました。その中で、憂慮すべきは「沖縄県ではがん死亡率の減少スピードが、他の都道府県と比べるとかなり鈍い」という点です。

今回、琉大病院がんセンターでは、報告書を作成する過程で、沖縄県のがん対策に必要な指標を明らかにしました。さらに、これらの指標のうち、数値が把握できる指標を用いて、個別分野を評価し、その分野に必要な施策を明らかにすることができました。沖縄県における対策を効率的・効果的に進め、がん死亡の減少を加速するためには、このように多くの指標を定期的に把握・分析・公表する組織（ベンチマークセンター）の構築が必要です。

琉大病院がんセンターは、がん対策に関わる厚労科研の研究班や国立がん研究センターがん対策情報センター、東京大学公共政策大学院などの国内トップレベルの研究機関等と長年にわたり協働で研究や実践を行っており、実績があります。また、今回の沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）の中間評価に関連する指標の開発、収集、分析、評価の実績があります。

以上より、沖縄県がん対策推進計画（第 2 次）とその実践がより実りのあるものに、また次期沖縄県がん対策推進計画の策定に役立つ指標等を提供するためにも、琉大病院がんセンター内に、沖縄県がん対策推進のためのベンチマークセンターの設置を要望いたします。